



銀杏 《 愛校 自主自律 》

～生徒一人一人が主役を果たす、「生徒が育つ学校」の創造～

宮内中学校 学校だより

暑い夏の熱い戦いに挑む！ 県中総体でも大活躍！

7月22日(土)・23日(日)に渡り、ソフトテニスは真室川で、卓球は米沢で、陸上競技は鶴岡で、それぞれの県中総体が行われました。結果は以下のとおりでしたが、地区総体からわずか1か月でも、心身ともにひと回りもふた回りも大きく成長した姿が見られました。これも、仲間やご家族の支えがあってこそです。特にソフトテニスの齋藤さん榮さんペアは、8月8～9日に青森市で行われる東北大会に進出します。さらなる活躍を期待しています。県中総体に出場した選手の皆さん、感動をありがとう！！

県中総体の活躍の足跡

【団体】

ソフトテニス女子 **第3位**

【個人】

ソフトテニス女子個人
 ソフトテニス女子個人
 ソフトテニス男子個人
 卓球女子個人
 陸上男子200m
 陸上男子400m
 陸上男子800m

齋藤由梨亜・榮ひとみペア
 高山叶羽・半田妃良莉ペア
 高野太喜・大滝高ペア
 鈴木えりも
 鈴木尊也
 松浦悠真
 手塚宙夢

準優勝 (東北大会進出)

ベスト16

ベスト32

ベスト32

25秒12 (決勝進出ならず)

58秒22 (決勝進出ならず)

2分20秒69 (決勝進出ならず)



訂正とお詫び

前回の学校だより(7月18日付第7号)にて、1年近野心絢さんと木村奏さんが参加する”第1回南陽みらい議会“の日程に誤りがありました。正しくは、8月2日(水)の開催になります。訂正してお詫び申し上げますとともに、お二人の活躍を改めて期待いたします。なお、8月9日(水)にも行われるそうです。未来の南陽市のため、頑張ってくださいね!!



いよいよ夏休み。“命を大事にし、充実した夏”を過ごしましょう!

8月の主な予定

- 2日(水):南陽みらい議会
8日(火)~10日(木)
:臨雲文庫学び舎
9日(水):南陽みらい議会
10日(木)~15日(火)
:学校閉庁日
17日(木):2学期始業式
18日(金):3年実力テスト③
23日(水):地区英語弁論大会
:職員会議
24日(木):生徒会専門委員会
25日(金):少年の主張大会
29日(火)~31日(木)
:テスト前学習会
30日(水):2年南陽市海洋キャリア
教育セミナー
(全学年6時間授業日)
9月1日(金):前期期末テスト



本日27日(木)、1学期の終業式を迎えました。各学年とも心身ともに大きく成長し、たくさんの成果を残してくれました。代表として1年鈴木初音さん、2年丹湊平さん、3年板垣優菜さんが、その成長ぶりとこれからへの決意を述べてくれましたが、それぞれに思いのこもった内容でした。

この1学期の大きな頑張りに、心から感謝とエールを贈ります。さて、明日から8月16日までの夏休み期間、あなたはどんな夏を過ごしますか?

日々の学習と生活・生徒会活動・部活動とそれぞれに質の高い取組みを積み重ねた宮中生諸君です。

この1学期を振り返り、また自他の命を大事にしながら、一人一人が目標を持って充実した夏休みを過ごしてください!



3年生の進路学習会が行われました!

7月26日(水)に、3年生の進路学習会が行われました。講師に、県立米沢商業高校の伊藤広幸校長先生をお迎えし、勇気と元気が湧き出るお話をたくさん頂戴しました。その中で、「夢を叶える人は、努力している!」ということを教えていただきました。3年生は、進路決定・進路実現に向けて、今まで以上に本気になって自分と向き合っていかなければなりません。もちろん、1・2年生も、その時期を迎えることとなります。私たちは、進路実現に限らず、いろいろな夢を持って毎日を生きています。その夢を叶えるためには、努力が必要であり、その努力が続けられるのは、長い人生のほんの一瞬でしかありません。

そんな、大切なことを教えていただいた進路学習会でした。3年生の皆さん、自分の将来の姿を思い描き、今できる努力は何なのかを考える夏にしてくださいね!



【校長の独り言...】

先日、梅雨明けが宣言され、今年も暑い夏がやってきました。県中総体も猛暑の中での熱戦が繰り広げられ、また、四年ぶりの宮内のお祭りも熱気あふれる中、県内外の多くの方々とともに盛り上がりました。24日の夜祭りでは、万燈神輿を威勢よく担ぎ、汗だくになりながら、小学生・高校生・大人の担ぎ手に負けないパワーを見せてくれました。

25日には、南部・西部・東部それぞれの地区の子ども神輿を、お清めの水をあびながら元気いっぱい担いで祭りを盛り上げてくれました。

お神輿とは、お祭りの時に神様が地域内を回る為に乗る「輿」(乗り物)のことを言います。災厄や穢(けが)れを吸収して清めたり、人々の豊作祈願や願いを聞き入れたりするために行われると言われています。

コロナで寸断された夏祭りが再開し、二日にわたってお神輿を担がせていただき、地域に貢献した宮中生に改めて感謝したいと思います。そして、この歴史と伝統を後世まで伝えてほしいと思います。

